

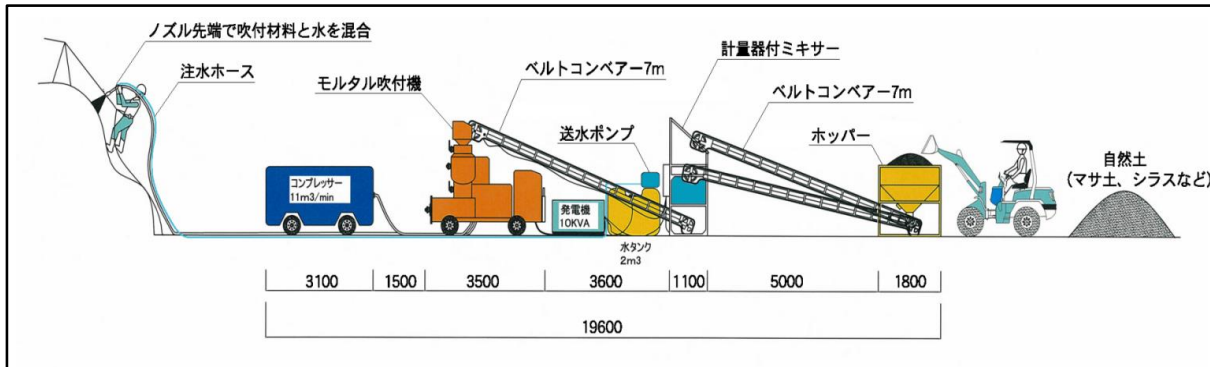
## 技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全 防災 <input checked="" type="radio"/> 環境 コスト ICT 品質 <span style="color: red;">（該当する分類に○を付けてください）</span>		
技術名称	マグファイバー工法（法面防草工）	担当部署	営業推進部
NETIS登録番号	QS-090023-A	担当者	浜嶋 博昭
社名等	日本乾溜工業株式会社	電話番号	092-632-1007
技術の概要	<p><b>1. 技術開発の背景及び契機</b></p> <p>道路のり面等で除草業務の軽減を目的として、モルタル吹付が施工されている場合がありますが、自然景観を損ねるだけでなく環境面でも、少なからず生態系にも影響を与えていることが考えられます。そこで、雑草抑制と侵食防止を図るために土系舗装防草材（自然色防草土）を対象面に法面用の吹付機械を用いて吹付け、景観性や環境負荷を軽減しながら表面保護と遮根の目的を果たす強固で耐久のある遮根層を形成する地面被覆工法（雑草抑制工法）を開発致しました。吹付けた固化物は、天然素材からできているため、使用後も廃棄物とならず、埋め戻し材や植生用土としても再利用できます。</p> <p><b>2. 技術の内容</b></p> <p>自然斜面や法面の雑草抑制と侵食防止を図るために、細骨材として、マサ土、黒土、シラスなどの自然土の骨材を使用し、竹笹類材を圧潰加工した綿状竹短繊維と海水中のにがり成分から抽出された低アルカリ性の酸化マグネシウムからなる固化材を水と混合して、従来のモルタル吹付機で施工地面に加圧空気により隙間なく吹付けて固化させることにより、草木類の根の通過を遮断する遮根層を形成させることを特徴とする地面被覆工法です。この酸化マグネシウムは、肥料取締法7条に基づく肥料登録（登録番号 生第47784号）がなされており、植物を含む全ての自然環境に無害です。</p> <p><b>3. 技術の効果</b></p> <p>モルタル吹付工と違い、仕上がりが自然な土色となり、被覆面全体が自然景観に溶け込みやすくなります。また、安全な海水起源の酸化マグネシウムを固化材として使用している為、自然環境に与える影響が少ないのが特長です。また、固化材として、セメントを使用した場合に比べ、酸化マグネシウムによる固化体は乾燥収縮が起きにくく、結束材として混入する竹短繊維により固化体のひび割れ抑制効果と韌性向上効果が期待できます。</p> <p><b>4. 技術の適用範囲</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・斜面安定が確保されている自然斜面や人工斜面（法面）に適用されます。</li> <li>・法面勾配 1割未満では、菱形金網張り工を併用します。</li> <li>・法面垂直高さ 40m未満</li> </ul> <p><b>5. 活用実績</b></p> <p>国の機関 5件（九州 5件、九州以外 0件）  自治体 35件（九州 48件、九州以外 0件）  民間 3件（九州 3件、九州以外 0件）</p>		

6. 写真・図・表

マグファイバー工法 施工プラント



施工中



施工後



施工中



施工後



施工中



施工後

